

千年先を変える一日

遺伝研オンライン

# 大学院見学会

2022.2.16 wed 13:00-16:15

会場 オンライン開催 [Zoom]

参加無料

対象 学部生、高専専攻科生、修士課程大学院生、学士号(相当)以上  
を取得している社会人等(遺伝研の大学院に興味のある方)

応募締切 2022年2月15日(火)

お問い合わせ

国立遺伝学研究所 総務企画課 大学院担当 〒411-8540 静岡県三島市谷田111  
TEL 055-981-6720 E-mail info-soken@nig.ac.jp  
HP▶ [遺伝研](#)



◀お申し込みは特設サイトから  
[www.nig.ac.jp/nig-kengakukai/](http://www.nig.ac.jp/nig-kengakukai/)

S O K E N D A I



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構  
国立遺伝学研究所

# 2022.2.16 wed 13:00-16:15 遺伝研オンライン大学院見学会

会場 オンライン開催 [Zoom]

応募締切 2022年2月15日(火)

参加無料

対象 学部生、高専専攻科生、修士課程大学院生、学士号(相当)以上を取得している社会人等(遺伝研の大学院に興味のある方)

## プログラム

### 第一部

- ・研究所・専攻の紹介(所長/遺伝学専攻長)
- ・研究室紹介

### 第二部

- ・研究室見学
- ・総研大生と座談会(希望者のみ)

お申し込みは特設サイトから

[www.nig.ac.jp/nig-kengakukai/](http://www.nig.ac.jp/nig-kengakukai/)



## 国立遺伝学研究所とは

国立遺伝学研究所(遺伝研)は、総合研究大学院大学(総研大)生命科学研究所遺伝学専攻として、大学院生の教育をおこなっています。遺伝研では、「染色体・細胞」「発生・生殖」「脳科学」「エピジェネティクス」「進化・多様性」「ゲノム・大量情報」などのキーワードで、様々なモデル生物やデータベースを用いた最先端の研究をおこなっています。遺伝研は、研究者を目指す学生にとって最高の研究環境を提供し、トップクラスの研究者を養成しています。



## 遺伝学専攻の特色

### 1. 複数教員による指導体制

遺伝学専攻における教育の最大の特徴は、「全教員による指導」という理念です。全教員が入学試験に参加して合議で適性判定をおこない、入学後も指導教員以外の教員(最大4名)によるプログレス委員会が学生と毎年面談して、研究の進め方について助言、学位論文の作成のサポートや将来の相談などをおこなって、研究者としての成長を支援します。年1回のポスター発表会では、所内の様々な立場の研究者と議論できます。

### 2. トップレベルの研究環境

遺伝研は「大学共同利用機関」として学術コミュニティ全体の研究を促進し、新しい分野を開拓しています。この研究環境を最大限に生かして研究できることも魅力のひとつです。最先端の研究機器、施設やリソースの使用だけでなく、遺伝研を訪問する多くの研究者との交流を通じ、最先端の研究技法と分野を俯瞰する学際的能力を培うことができます。

### 3. 盛んな研究交流

所内では国内外の著名な研究者によるセミナーや様々な分野の研究会が頻りに開催されています。学生はこれらのセミナーや研究会に参加し、演者らと直接交流することができます。総研大の生命系4専攻の大学院生が集う生命科学リトリート(合宿形式の研究会)も毎年開催されます。

### 4. 充実した科学英語教育

国際的研究者として活躍する能力を向上させるために、科学英語教育に注力しています。とくに「遺伝研メソッド」を使った、英語を母国語とする専任講師による授業が特徴です。「遺伝研メソッド」は、遺伝研の研究者が開発した、講義と英語プレゼンテーションの実践で英語力と科学的思考力を同時に鍛えるプログラムです。大学院教育における「英語公用語」方針や高い留学生比率といった国際的環境の中で「英語で議論する力」を身につけることができます。

### 5. 豊富な支援制度

RA(リサーチアシスタント)制度による経済支援、学生が同居できる宿舎の整備などの生活支援をおこなっています。さらに学会参加費や海外渡航費の支援、論文やプレゼンテーションに対して助言をおこなう「道場」など、様々な研究活動支援制度があります。

### 6. 学位取得後の多様な進路

学位取得後、多くの修士生が国内外の研究機関で博士研究員やアカデミックポジションに就き、また民間企業への就職なども含めて、関連分野で活躍しています。

